

モルタルプール 塗装仕様書 新設 プールコート スペシャルAU

大同塗料株式会社

1. 塗装工程

工 程	品 名 (配合比)	希釈剤 希釈率(%)	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)
素地調整	- 含水率は、デジタル式水分計による測定で5%以下。更にポリエチレンフィルムを床面に敷き、周囲をテープで密封して翌日(16時間後)開封する手順で行い、床面が黒っぽく濡れたりフィルムが結露していないことを塗装条件とします。 - モルタル表面のレイトンスはディスクサンダーやポリッシャーなどの動力工具を用いて除去し、掃除機で清浄にします。					
下 塗	プールコート モルタル用プライマーE (主剤:硬化剤=3:1)	プールコート スペシャルAUシンナー 0~20	1	0.10~0.13	コテ ヘラ	16時間以上 2日以内
	ポルトランドセメント			0.10~0.13		
中 塗	プールコート スペシャル (主剤:硬化剤=4:1)	プールコート スペシャルシンナー 10~20	1	0.14~0.16	はけ ローラー	16時間以上 7日以内
上 塗	プールコート スペシャルAU (主剤:硬化剤=4:1)	プールコート スペシャルAUシンナー 5~15	2	0.13~0.15	はけ ローラー	〃
コースライン	プールコート スペシャルAU (主剤:硬化剤=4:1)	プールコート スペシャルAUシンナー 5~15	1~2	0.13~0.15	はけ ローラー	〃
塗装後注水までの最低養生日数		気温	10℃	10日		
			20℃	7日		
			30℃	5日		

※ 防滑(ノンスリップ)仕上げの場合は、中塗り又は上塗り1回目塗装後、直ちに6~7号珪砂を散布(0.1~0.2kg/m²)し、乾燥後余分の砂を除去してさらに上塗り(1~2回)を塗装します。

2. 注意事項(プール塗装の重要なポイントとなりますので、施工前に必ずお読み下さい)

- (1) 水分計は、(株)ケット科学研究所製造品を指しています。説明書に従って測定して下さい。下地の水分が多い場合は塗膜の膨れや剥離の原因となります。
- (2) レイタンスの除去不足はモルタル表面からの膨れや剥離の原因となりますので、ディスクサンダーやポリッシャーなどで入念に除去して下さい。
- (3) 表面のジャンカや目違いの面修正は必ずダイドーレジモル又はプールセメントWを使用して下さい。他のセメントフィラー(カチオンフィラー等)を使用しますと、剥離や膨れなど不具合の原因となります。
- (4) 表面が緻密で吸い込みのない面はダイヤモンドサンダー掛け、又はブラスト処理を行って下さい。吸い込みのない面は付着性が悪くなりますので、吸い込みやすくなったかどうか水を落として確認して下さい。
- (5) 下塗りは、プールコートモルタル用プライマーEの主剤と硬化剤を3:1(質量比)の割合でよく混合した後、等量(質量)のポルトランドセメントを混入し、電動攪拌機を使って混ぜて下さい。吸い込みにくいモルタルの場合はスペシャルAUシンナーで20%以内で希釈し、コテ、ヘラなどでしごき塗りして下さい。壁面はローラーで塗料を配ってからコテ、ヘラでしごいて下さい。ポルトランドセメントはモルタル表面のピンホールを埋める目的で混入します。
- (6) プールコートモルタル用プライマーEを塗装した後に降雪雨があった場合や、2日以上経過した場合は必ず表面をラッカーシンナーまたはプールコートスペシャルシンナーでシンナー拭きしてから中塗りして下さい。
- (7) 小さな破損部や凹部は下塗後、エポパテ速乾型N又はハイボンド#3000で処理して下さい。ポリエステルパテ(ポリパテ)等其他のパテ材を使用しますと剥離しますので使わないで下さい。又エポパテ速乾型N及びハイボンド#3000に直接プールコートスペシャルAUは付着しません。プールコート スペシャルを入れてからスペシャルAUを塗装して下さい。
- (8) 塗装面に砂や異物を巻き込みますと突起となり、プール使用時に足の裏等を怪我する場合があります。砂や異物の巻き込みに注意し、最終塗装時には事前に全面をチェックして、サンドペーパーやスクレパーなどで突起物を除去してから丁寧に塗装して下さい。
- (9) 最終塗装の際、新しいローラーは使用しないで下さい。毛が抜けて突起の原因となります。止むを得ず新しいローラーを使用する場合は、事前にガムテープを使って抜けるだけの毛を抜き取ってから使用して下さい(毛の抜け難いローラーも市販されています)。
- (10) 各塗装前は結露や夜露、霜などにより表面が濡れていないかチェックし、濡れている時は十分乾燥させてから塗装を始めて下さい。又水分により塗膜が白化した場合は、シンナー拭きや研磨により白化部分を除去して下さい。
- (11) 屋内プールを塗装する場合は送風器を設置し、施工中・施工後にプール内の換気を十分に行って下さい。
- (12) 塗装後注水までの養生日数が不足しますと塗膜の膨れや剥離並びに早期チョーキングや退色の原因となりますので最低養生日数は厳守して下さい。

3. 下記のような場合、塗装は原則として避けて下さい。

- (1) 気温5℃以下の時や、湿度が非常に高い時。
- (2) 降雪雨時、あるいは塗料の乾燥する前にその恐れのある時。
- (3) 強風下、塵埃の多い時。
- (4) 炎天下、素材表面の温度が高く、塗膜に泡を生ずる恐れのある時。